

沿革 | 園芸農業研究所

昭和40年4月	山形県立園芸試験場として設立
昭和42年4月	試験研究業務を開始、総務課・果樹課・野菜花き課の3課となる 砂丘分場が農業試験場より移管され、園芸試験場砂丘分場となる
昭和48年4月	果樹部・野菜花き部・環境部を設置、1課3部体制となる
昭和53年4月	砂丘分場が独立し、砂丘地農業試験場となる
昭和59年4月	先進技術開発研究室を設置、1課1室3部体制となる
昭和63年4月	育種部を設置、1課1室4部体制となる
平成4年4月	野菜花き部が野菜部と花き部に分割、1課1室5部体制となる
平成11年4月	農業試験場より生物工学部門が移管され、先進技術開発研究室が生物工学研究室となる
平成12年4月	総務課、バイオ育種部、果樹研究部、野菜花き研究部および環境研究部の1課4部体制となる
平成17年4月	農業関係試験研究機関の組織改編により、山形県農業総合研究センター農業生産技術試験場となり、総務課、バイオ育種科、果樹研究科、野菜花き研究科および園芸環境研究科の体制となる
平成21年4月	山形県農業総合研究センター園芸試験場と改称
平成23年4月	総務課、バイオ育種部、果樹部、野菜花き部、園芸環境部の体制となる
平成29年12月～	新本館および関連施設建設工事開始
令和2年3月	新本館（管理棟、研究棟）落成
4月	山形県農業総合研究センター園芸農業研究所と改称
7月	開所式、新本館での業務開始